

ひまわり通信

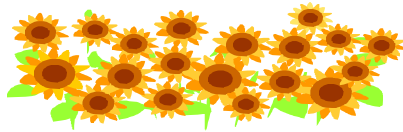
№ 69 平成 19 年 10 月 30 日

新潟市立東青山小学校

児童数 617 人

(231)9611 fax(231)9623

いのち輝く子ども



<http://www.niigata-inet.or.jp/higashi/>

<http://www.niigata-inet.or.jp/higashi/i/> (携帯用)

E-mail h-aoyama@niigata-inet.or.jp

いじめ根絶強調月間

いじめ根絶にいがた県民会議では、全国的にいじめが多く起きる傾向にある 10 月をいじめ根絶強調月間として、各学校の取組を推進しています。

当校では、「いじめは人間として絶対に許されない」という基本認識に立って、いじめの未然防止と人間関係におけるトラブルの解消率 100 %をめざし、人間関係づくりの推進を図るとともに、全校縦割り活動による異学年交流や道徳教育・学級活動の充実等を目指した取組を行ってきています。そして、10 月のいじめ根絶強調月間に合わせ、道徳や学級活動の時間において、いじめ防止という観点から授業を 1 回以上実施する、ひまわり委員会でいじめ防止標語を募集し、「いじめをしない・許さない」といった児童の意識を高める、校長による講話を行う、などの取組をしたところです。

校長講話では、野球解説者である村田兆治さんの、いじめている君に送ったメッセージ「自分であやまる勇気をもって」の新聞記事を使って、『ふざけて言ったつもりでも、相手は深く傷つくこともある。相手が「やめて!」と心の中で叫んでいる気持ちを察してほしい。そして、悪いことをしたと思ったらすぐに謝る勇気をもってほしい。』というような内容で、全校児童に訴えました。その後、各学級では講話の内容を受けていじめについて話し合いました。5 年生のある学級では、次のような感想文を寄せてくれました。

「いつも何気なく使っている言葉が人を傷つけているのかも知れないと思いました。今度から乱暴な言葉を直したいと思います。」「相手がとれないようなボール(言葉)で会話は成立しないし、そのボール(言葉)がとれなかったらといっていじめてはいけないと思う。」「友だちの気持ちを考えずに言っていることが多いです。普段から友だちの気持ちを考えてはなせるようになりたいです。」

いじめについてきちんと受け止めてくれたようで、嬉しく感じました。今後も、いじめの芽を速く摘めるよう、アンテナを高くして子どもたちの人間関係に注意を払っていきたく

いと考えています。

【11 月の行事予定】

- 2 日(金)委員会
- 6 日(火)就学時健康診断
B 4 時程 給食後放課
- 9 日(金)体育用品販売
- 12 日(月)教育実習終了
- 14 日(水)B 5 時程
- 16 日(金)クラブ
- 19 日(月)ふれあいコンサート
- 26 日(月)学習参観日
- 30 日(金)委員会

学級から出された標語(一例)

「みんな仲良く遊ぼうよ。優しい気持ちは言葉から。」(1 年)

「いじめないでね。心の中が泣いている。」(2 年)

「気づこうよ。人の気持ちが分かるかな。」(3 年)